

■第6学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
わたしのお気に入りの場所	絵	4	学校内外のお気に入りの場所を絵に表す。	☆ 知 気持ちが伝わるように、描き方を工夫しよう。	☆ 知 これまでの生活の中で感じ取ってきたことから、身のまわりにある奥行きや色の鮮やかさを理解している。	☆ これまでに経験した表し方を生かして、自分のイメージをよりよく表せるように色使いや筆使い、構図などを工夫している。	絵の具、クレヨン、パス、画用紙、水彩用具、鉛筆など
				☆ 思 お気に入りの場所から表したいことを考えよう。	☆ 思 お気に入りの場所から感じたことをもとに自分のイメージを大切に、どのように主題を表すか考えている。		
				学 お気に入りの場所をたのしく描こう。	主 お気に入りの場所を描くたのしさを味わい、主体的に絵に表そうとしている。		
今の気持ちを形に	立体	2	粘土で自分の今の気持ちを立体に表す。	知 粘土の特徴を生かして、表し方を工夫しよう。	知 粘土を回していろいろな方向から見ることから、立体の動きやバランスを理解している。	☆ 今の自分の気持ちをもとに、いろいろな方向から見ながら自分のイメージにふさわしい形をどのように表すか考えている。	土粘土、粘土板、粘土べら、タオルなど
				☆ 思 今の自分の気持ちを表す形を考えよう。	☆ 思 今の自分の気持ちをもとに、いろいろな方向から見ながらどのように表すか考えている。		
				学 粘土の手触りを味わい、たのしく表そう。	主 粘土の手触りを味わい、主体的に自分の気持ちを表そうとしている。		
白の世界	立体	6	木と金属の特徴を生かし、それらの組み合わせ方を工夫してつくる。	☆ 知 身近なものの形の面白さを発見しよう。	☆ 知 形の組み合わせによる表現を通して、動きやバランスを理解している。	☆ 身近な材料の形を生かしていろいろと組み合わせを試しながら表したいものをイメージし、どのように表すか考えている	教師：軽量紙粘土、液体粘土、白い塗料、土台となるもの（板材や段ボール）、刷毛、液体粘土を入れる容器 児童：布や身近な材
				☆ 思 異素材の組み合わせから新しい形を考えよう。	☆ 思 材料の特徴を生かし、材料の組み合わせ方や表し方を工夫している。		
				学 素材や接着の方法を工夫して白い世界をたのしもう。	主 身近な材料の形や組み合わせから表したいものをイメージし、どのように表すか考えている。		
					主 形を変えたり組み合わせでつくることのできるのたのしさを味わい、主体的に活動に取り組もうとしている。		

■第6学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
カット、ペタッと、すてきな形	絵	4	色画用紙を切り抜いたり重ね合わせたりして、絵に表す。	☆ 知 紙の切り方や重ね方を工夫しよう。	☆ 知 色画用紙を切ったり組み合わせたりすることから、形や色による動きやバランス、鮮やかさを理解している。 ☆ 知 これまでの経験を生かしてはさみやカッターナイフなどを活用し、紙の切り方や重ね方を工夫している。	☆ はさみやカッターナイフを巧みに使い、積極的に色画用紙を切ったり組み合わせたりすることを通して、形や色による動きやバランス、鮮やかさを理解し、貼り方や重ね方を工夫して表している。	色画用紙、接着剤、カッターナイフ、カッターマット、はさみなど
				☆ 思 切った紙の形や色から何を表すか考えよう。	☆ 思 切ってできた紙の形や色、その組み合わせから自分のイメージをもち、どのように表すか考えている。		
				☆ 学 切ったり重ねたりして、いろいろな表し方をたのしもう。	☆ 主 重ねた感じを味わいながら、主体的にいろいろな表し方に取り組もうとしている。		
なにになに!?どんなあそび??	鑑賞	2	ブリューゲルの作品から、作品の情景や背景を想像する。	☆ 知 ブリューゲルの作品について知ろう。	☆ 知 作品のよさや表し方の違いを見つけることから、動きやバランスを理解している。	☆ 作品のよさや表し方の違いを見つけることから、表されている龍の動きやバランスを理解するとともに、設置場所との関係や表されてきた意味・背景を深く理解している。	鑑賞のための資料、鉛筆など
				☆ 思 作品の情景や背景、作者の意図を考えよう。	☆ 思 作品の特徴からそれが置かれている場所や時代の意味を考えている。		
				☆ 学 作品のよさを味わおう。	☆ 主 作品から気づいたことや話し合っって感じたことから作品のよさを主体的に味わおうとしている。		
時空をこえて	絵	6	自分が行きたい場所や時間から想像を広げて絵に表す。	知 表したいことが伝わるように、描き方を工夫しよう。	知 絵の具やクレヨンなどを使って想像した場所を描くことによって、バランスや奥行きを理解している。 知 表したいことが伝わるように、これまでの絵の具やクレヨンの経験を生かしながらかき方を工夫している。	☆ 行きたい時代や場所を具体的に想像してイメージを豊かに広げながら、これまでの経験をもとに自分のイメージした世界をどのように表していくのか考えている。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、画用紙、水彩用具、鉛筆など
				☆ 思 行きたい場所や時間から表したいことを考えよう。	☆ 思 行きたい時代や場所の具体的なイメージを想像することから、どのように表すかを考えている。		
				☆ 学 友達や自分の表現を味わい、たのしもう。	☆ 主 想像を広げて描くことをたのしんだり、友達や自分の表現のよさを味わったりする活動に主体的に取り組もうとしている。		
きらめき劇場	工作	4	LED ライトと材料の特徴を生かして、表したいものをつくる。	知 光と材料の組み合わせ方を工夫しよう。	知 LEDライトとさまざまな材料の組み合わせから、色の鮮やかさや奥行きを理解している。 知 ライトや材料の特徴を生かしながら、その組み合わせ方を工夫している。	☆ いろいろな材料を使って光の効果を試しながら自分のイメージをもち、どのように表すか積極的に考えている。	透明な容器、色が変わるLED ライト、段ボール箱、身近な材料、接着剤など
				☆ 思 光の効果を試しながら、表したいものを考えよう。	☆ 思 光の効果を試しながら自分のイメージをもち、どのように表すか考えている。		
				☆ 学 友達と協力して表すことをたのしもう。	☆ 主 力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、表現の可能性を見つけていこうとしている。		
強くてやさしい組み木パズル	工作	6	かぎつぎ（切り込みを入れて組む接合方）の技法を使って板材を中心に立体的な表現をする。	知 かぎつぎ技法を工夫し、道具を正しく効果的に使う。	知 1枚の板を切ることから生まれた形やその組み合わせの動きや奥行き、バランスを理解している。 知 糸のこぎりの特性を生かし、板の切り方や組み合わせ方を工夫している。	☆ 糸のこぎりの特性を十分に生かし、曲線切りなど切り方を工夫するとともに、できた形をいろいろと組み合わせさせていくことを通して、動きや奥行き、バランスなどを意識ながら表している。	教師：木材(杉板が安価、厚さ1cm)、電動糸のこぎり、替え刃、工作用紙(模型・ものさし凹用)、チョーク、紙やすり、きり ※修理用…木工用接
				☆ 思 かぎつぎを使い、木材の風合いを活かした立体を考える。	☆ 思 切った板の形や組み合わせから表したいものを発想し、どのように表すか考えている。		
				☆ 学 木材の風合いを感じ、立体表現をたのしむ。	☆ 主 いろいろな組み合わせを試すことのできる喜びを味わい、主体的に表そうとしている。		
龍を見る	鑑賞	2	日本やアジアの龍、西洋のドラゴンを表した作品について知ったり感じ取ったりする。 ※鑑賞として、「小さな美術館」	☆ 知 龍や作品について知ろう。	☆ 知 作品のよさや表し方の違いを見つけることから、動きやバランスを理解している。	☆ 作品のよさや表し方の違いを見つけることから、表されている龍の動きやバランスを理解するとともに、設置場所との関係や表されてきた意味・背景を深く理解している。	鑑賞のための資料、墨汁、絵の具、和紙など
				☆ 思 作品の設置場所やその意味を考えよう。	☆ 思 作品の特徴からそれが置かれている場所や作品の意味を考えている。		
				☆ 学 作品のよさを味わおう。	☆ 主 作品から気づいたことや話し合っって感じたことから作品のよさを主体的に味わおうとしている。		

■第6学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
墨から生まれる世界	絵	2	筆だけでなく、さまざまな用具を使って、墨で表す。	知 墨や紙の特徴を生かして表し方を工夫しよう。	知 墨の濃淡や形の表現から、動きや奥行き、バランスを理解している。 墨や筆、紙の特徴を生かして表し方を工夫している。	☆ かつれやにじみなど墨による表現のたのしさを存分に味わい、さまざまな用具を工夫して適切に扱いながら積極的に新たな表現に取り組もうとしている。	墨汁、和紙、筆となるもの、新聞紙、皿など
				思 墨の濃さやできた形などから表したいことを考えよう。	思 墨の濃さや筆使いなどをいろいろと試すことから、表したいことを考えている。		
				☆学 墨で描くことをたのしもう。	☆主 墨による表現のたのしさを味わい、主体的に新たな表現に取り組もうとしている。		
ひびき合う形と色を求めて	絵	4	これまでに経験した版画やスチレンボードの特徴を生かして、版に表す。	知 スチレンボードの特徴を生かして、表し方を工夫しよう。	知 スチレンボードを使った版表現を通して、形や色の組み合わせとそこから生まれるバランスや色の鮮やかさなどを理解している。 スチレンボードによる版表現の特徴を生かして、型押し、切り離し、重ねなど表し方を工夫している。	☆ スチレンボードだからこそできる表し方を積極的に試すことから発想して自分のイメージを豊かに広げ、どのように表すか考えている。	版画インク、版画用紙、版画用具、カッターナイフ、カッターマット、ばれん、スチレンボード、版に傷をつける身近な用具など
				☆思 版をつくったり、刷ったりしながら、表したいことを考えよう。	☆思 さまざまな方法を試すことから自分のイメージをもち、どのように表すか考えている。		
				学 自分や友達の表現のよさや工夫を味わおう。	主 版による表現活動をたのしみ、自分や友達の表現のよさや工夫を味わおうとしている。		
夢の新製品	工作	6	身近な材料で、あったらいいと思う新製品をつくり、互いのアイデアや面白さを伝え合う。	知 身近な材料の使い方を工夫しよう。	知 身近な材料を組み合わせることから、動きやバランスを理解している。 つくりたいものに合わせて材料を選んだり組み合わせたりしながら、つくり方を工夫している。	☆ 自分の作品の発想や表し方の工夫を積極的に伝え合うとともに、互いの表現のよさや自分との違いを深く味わおうとしている。	身近な材料、絵の具、接着剤、はさみ、ベンチ、ラジオペンチなど
				思 あったらいいと思う新製品を考えよう。	思 自分の願いから発想し、つくりたいもののイメージをもちながらどのようにつくるか考えている。		
				☆学 互いのアイデアや表し方、面白さを伝えよう。	☆主 互いの表現のよさや工夫を伝え、味わい、主体的に活動に取り組もうとしている。		